

知床の窓から見えるもの

2014年7月7日（月曜日）

「暖かい」



7月に入り、やっとここ羅臼にも夏？がやってきましたね。

7月1日は知床らうす国保診療所の開所2周年でした。

私も羅臼に来て生活を始めて2年が経ちました。

羅臼に来て驚いたこと、それは羅臼の方々がとっても気さくで親切なことです。全く知らないであろう私に「これ食べる？」「あれ食べる？」と声をかけてくれておいしい海産物を頂きます。お返しもできないうちに次から次へと頂きますので大変恐縮しています。

そして、羅臼の方たちは地域とのつながりが強いと感じます。町内会の行事には積極的に参加されていますし、町内会の活動がすご〜く活発だと感じました。私が参加できるのはお祭りくらいですが、お祭りも町内会の強い絆で運営されているのを感じますし、町民の皆さんがお祭りを楽しんでいるのを感じます。

診療所に対しても暖かい気持ちを持って頂き、町民有志の方々が「らうすの医療を支える会」を結成してくれ職員を対象にイベントなども企画してくれます。

私たちも期待に応えられるよう日々精進して勤務したいと思います。